

東北・北海道地区合同会議開催

平成23年10月20日、東京ドームホテル札幌において、東北地区会(代表幹事：石塚卓美、東北インフォメーション・システムズ(株) 代表取締役会長)と北海道地区会(代表幹事：中村信義、(株)HDC 代表取締役社長)の合同会議が開催された。参加者は北海道IT推進協会の会員も含め33名。

冒頭、平成23・24年度のJISA理事及び地区会代表幹事に就任された中村北海道地区代表幹事が、このたびの東日本大震災の影響で秋の地区会開催も東北から北海道になったこと及び来賓紹介並びに参加者へ謝辞を述べ、「北海道の一番よい時期を楽しんでいただきたい」と開会の挨拶をした。

続いて、JISA神山茂副会長が、「日本全体のリーダーもそろそろ革新的な創造者がリーダーシップを取らないと中間層の優秀な人材が育たないのではないか。能力のある人材が皆さんの会社の中にも埋もれているかも知れない。若い人に是非、挑戦させてほしいと思う。これは人材育成ではなく発掘である。JISAも皆さんとともに努力していきたい」と挨拶した。

来賓の北海道経済産業局・友田正敏地域経済部長は挨拶の中で、経済産業局のIT情報政策として平成23年度から「北海道ITアジャイル戦略」を策定し新たな振興戦略をとっていること、北海道で優れたITベンチャー輩出を支援する「ITクラーク塾」を開講する等、道内情報産業の振興の取組について説明された。

議事に入り、最初に経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・鈴木東子係長から、経済産業省の情報政策として、融合新産業の創出の概要、情報サービス産業の現況及び今後の課題等について説明があった。

河野副会長・専務理事から、JISA活動状況として、最近の業界動向(特サビ動態統計、実態調査等)、枝野経済産業大臣と電子・情報・通信関連産業界との懇談会開催、平成23年度情報化促進貢献個人等の表彰(JISA関連)、JISA Awards2012の実施、JISA新会員証、国際会議の報告、東日本大震災に対するJISAの対応、電力需給対策等の報告があった。

地区会報告では、石塚東北地区代表幹事が、東日本大震災に対するJISA会員及び全国の皆様の支援へのお礼を述べたあと、大震災の被害及び復旧状況、東北地域の経済情勢及びIT業界の動向について説明し、「東北地域のIT産業は厳しい状況であるが、今後の産業再生にITを通して支援する取り組みが確実に始まっている」と報告した。中村北海道地区代表幹事からは、北海道地域の経済情勢及びIT産業の動向等について報告があった。

休憩をはさみ、JISA委員会・部会報告として、『情報サービス産業白書2011-2012』の概要について、人材委員会白書編纂部会の事務局担当・田畑から説明した。

(菊池)